

平成28年度 事務事業評価シート

章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	I	市民の主体的な健康づくり意識の確立
目標	自らの健康は自らが守るという意識を醸成し、市民が主体的に健康づくりに取り組むことにより健康で元気に生活できる期間(健康寿命)を伸ばす。	

指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27	
指標①	メタボリックシンドロームの概念を知っている人	%	—	91.7	—	—	—	89.4	—	94.7

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的内容
1-①	1 健康づくり運動の推進	① 健康づくりを目指した生活習慣の改善	・生活習慣病を予防するため、早い時期から正しい生活習慣を身に付けられるよう健康教育を推進します。
1-②	1 健康づくり運動の推進	② 食を通じた健康づくりの推進	・すこやかな心と体を育む「食」の改善をめざし、食を通じた健康づくりである「食育」を推進します。 ・保健所や食生活改善推進員と連携し、食生活改善に関する情報の提供や学習機会の充実を図ります。
1-③	1 健康づくり運動の推進	③ 健康づくり情報と機会の充実	・栄養、運動、休養を中心とした生涯を通じた健康づくりの普及啓発の推進を図ります。 ・健康教育、健康相談、健康手帳の配布、健康通信「きらり」などによる健康づくりのための情報の提供や対策を講じ、市民の健康づくりの意識の醸成を図ります。

NO	施策	事業名 【事務事業コード】	部名及びグループ名	開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	大型事業推進プラン掲載事業	Plan・Do											Check						Action																										
									事業概要				事業の成果、目標							各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】							第2期基本計画第3次実施計画期間(H24～H27)及び平成28年度における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など(妥当性、有効性、効率性、成果)	今後の事業の方向性【H29以降】																						
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、直数値を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H26実績	H27実績	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標	名称	H26決算	H27決算	H28予算						H29予算案	H30予算案	H31予算案																			
1	1-②	食育事業	保健福祉部 健康推進G	H22	—	ソフト	一般会計	子育て世代等を対象に食育指導を行うことにより、食生活習慣の大切さを啓発し、生活習慣病の予防を図ることを目的とする。	乳幼児期・学童期の子を持つ親等 食に関する講話や調理実習や、試食などを通じて、日頃の食生活の悩みに応える栄養相談・栄養教室を第1子の親を中心として実施した。さらに子育て期にある母親自身の生活習慣病予防とバランス食を中心とした食育の推進のため、体組成計測定を取り入れた「へるしー親子相談」を執行として実施した。 【事業実績】 ・もぐもぐ食育広場 第1子対象人数：145人 第1子参加人数：86人 ・食育親子料理教室 年4回 参加人数：60人 ・へるしー親子相談 年4回 利用者数：44人	食育基本法、母子保健法、健康増進法	もぐもぐ食育広場 第1子参加者割合	%	59.3%	37.1%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	H26以前	国庫支出金	健康増進事業補助金	37	37	37	37																											
																										地方債	H27	食育事業教材費負担金	18	10	16	18	18	18																		
																																			一般財源	H28	へるしー親子相談 利用者数	44	74	80	80	80	80									
																																												合計	209	146	243	297	297	297		
2	1-③	北海道難病連立事業助成金	保健福祉部 健康推進G	H9	—	ソフト	一般会計	難病患者とその家族の社会的自立活動を推進し、福祉の向上、増進を図ることを目的とする。	難病問題の社会的啓蒙と難病に関する正しい知識の普及啓発活動を行っている財団法人北海道難病連立に対して助成を行った。 【財団法人北海道難病連立の主な活動内容】 ・難病患者等の各団体の育成援助 ・難病患者や家族への療育指導及び相談活動 ・難病に関する調査研究 など	登別市補助金等の事務取扱に関する規則	相談援助人数	人	1,224	1,407	1,000	1,000	1,000	1,000	H26以前	国庫支出金	道支出金	地方債	H27	その他	H28	医療講演会の開催回数	回	31	20	25	25	25	25																			
																																		一般財源	合計	52	51	51	50	50	50											
																																										H26以前	H27	H28	H26以前	H27	H28					
																																																合計	52	51	51	50
3	1-③	健康づくり事業	保健福祉部 健康推進G	H20	—	ソフト	一般会計	広報紙への啓発紙の折り込みや健康講座の実施等により、ここからからの健康づくりに関する知識の普及を図り、市民の主体的な健康づくり意識を醸成することを目的とする。	健康通信きらりを作成し、広報紙へ折り込みを行ったほか、こころの体温計の活用や健康教室等の実施によりここからからの健康づくりの啓発に取り組んだ。 【事業実績】 健康通信きらりの発行、こころの体温計の活用(H.P)、健康教室(生活習慣病予防 食生活等、自殺予防市民公開講座)健康相談(生活習慣病、栄養等、40歳以上の市民が対象。)	健康増進法、自殺対策基本法	健康教室開催回数	回	11	24	15	15	15	15	H26以前	国庫支出金	北海道地域自殺対応緊急強化推進事業費補助金・健康増進事業費補助金	642	290	330	448	448	448	H27	地方債	H28	ふるさとまちづくり応援基金積立金繰入金	151	324	501	758	596	596	596														
																																							一般財源	合計	1,117	791	1,088	1,044	1,044	1,044						
																																															H26以前	H27	H28	H26以前	H27	H28